

## 1. 運営体制

代表	V I V O HOUSE アンツ
副代表	あすなる授産所
書記	みるくはうす
委員	キッズクラブ はな
委員	キッズ はなくらぶ
委員	わんぱくはうす平井園
委員	メロディ
委員	くまのこ
委員	わわ

## 2. 活動内容

## 委員会

開催日	参加者
2012 年 6 月 25 日	「方針確認」 あすなる授産所、V I V O HOUSE アンツ、キッズクラブはな、みるくはうす
2012 年 7 月 11 日	「問題のリストUP」 あすなる授産所、V I V O ハウス アンツ、キッズクラブはな、 Link みいけ、みるくはうす、ぽぷら園、ちえりいくらぶ、わんぱくはうす平井園、えーゆールーム
2012 年 9 月 10 日	「鴈野氏への懸案事項の質問会」 堺市子ども家庭課、あすなる授産所、みるくはうす、わんぱくはうす平井園、Link みいけ、ILIS CLUB 和泉、るーふ、放課後クラブホップ、V I V O HOUSE アンツ、ちえりいくらぶ、キッズクラブはな、ぽぷら園 ※着席順
2012 年 11 月 16 日	「アンケートの質問事項会議」 Link みいけ、キッズはなくらぶ、みるくはうす、あすなる授産所
2012 年 12 月	アンケート実施
2013 年 1 月 10 日	「アンケートの集計・検討・報告」 役員会、連絡会
2013 年 2 月 7 日	「アンケートの活かし方について」 Link みいけ、キッズはなくらぶ、みるくはうす、あすなる授産所

### 3. 運営について

●放課後連絡会の地道な活動が、様々な学校とつながるようになり、様々な問題解決の糸口になったように、当委員会も様々な事故・虐待を防止、啓発してゆく発信源になりたいと思いき組んで参りました。

●放課後デイの存在によって、保護者さまのレスパイトも含めて大きな貢献、前進があったと思います。この前進を止めないためにも、未然に事故などを予防したい思いから、想定される様々な問題を提案してきた。事業所にとってリアリティのある懸念事項と想定される問題との間に差があり過ぎたりと、「意識の高い問題」と、「深刻な問題」を見分けるのが難しかった。

●そのため、12月に意識調査として、アンケートを実施したところ、やはり現場の問題意識は児童の預り・療育に関する（現場的な）ものばかりであった。

### 4. 課題

●事業所の「意識の高い問題」と、「本当に深刻な問題」のうち、まだ意識の低い問題を率先して啓発しておく必要があると思われる。連絡会の参加事業所も今、多いうちになんとかマイナーだが重要な案件（例：感染症対策、医療行為、難病対応などマイノリティーへの関心）を啓発したい。

●しかし、障害児童への療育は専門的な知識と経験が必要であることも事実だ。だから、専門性が専門的でなくなるように一般化を助長してゆきたい。アンケートの上位にあがった、多動児童や児童同士のトラブルを防げるような研修を提案してゆきたい。

参加事業所が集まりにくい。